



訪問診療・往診専門

医療  
法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ通信

No.42

令和6年5月



2024年の春

新年度が始まりました。なかなか気持ちが安定しない春ですが、いいスタートを切りたいですね。今年度の主な計画をお知らせします。

### 【1】デジタル化の推進

在宅においては、ひとりの患者さんに多くの職種が関わることがあります。所属する事業所が異なるために、情報共有を密に行う必要があります。最近ではインターネットを利用した情報共有ツール（ニバイタルリンク®）を使用しています。ID、パスワードが個々に割り振られており、業務専用のパソコンやタブレット端末等を使用することでセキュリティを高めています。ニバイタルリンク®を使用する場合は、事前に患者さん、ご家族さんに説明し、同意書にサインをいただく必要があります。御協力をよろしくお願い致します。

### 【2】ACP（人生会議）の推進

診察時に「もしもの時のために」をお渡ししています。記入項目がたくさんあり、全て埋めるのは難しいですが、訪問時に、いろいろとお話しできればと思っています。

徳島がん対策センター  
Tokushima Cancer Control Measures Center

文字サイズ 小 中 大

がんに関する御相談は  
088-634-6442

徳島県がん診療機関  
スピード検索

ホーム 事業について イベント情報 がん何でもQ&A トピックス 講演動画 出前講座 がん登録 相談支援

『もしもの時』のために  
アドバンス・ケア・プランニング  
Advance Care Planning (ACP)  
〔愛称：人生会議〕

話し合いながら書き込む「人生会議」のための小冊子です。  
「もしもの時」がいつ訪れるかは、誰にもわかりません。  
自分の思いを伝えられる今のうちに、はじめてはいかがでしょうか。

詳細はこちら

徳島県がん診療機関  
スピード検索

がん電話相談  
TEL

### 【3】食支援の強化

管理栄養士と協力し、食の支援を行っています。どのようなものを食べればいいのか、どういう調理が好ましいか、管理栄養士と協力して、毎日の食事について一緒に考えていければと思います。

### 【4】研修医、医学生の実習が始まります

今年度も研修医や医学生と同行訪問をさせていただく予定です。医学生においては、実習前試験に合格しないと実地にでられないことになっています。基礎知識を身に着けた医学生です。どうか御理解いただければと思います。

最後に、6月から診療報酬が変わります。医療費の自己負担が変更する場合があります。診療明細書をお渡ししておりますが、ご不明な点がありましたら、医師訪問時または、クリニックまでお問い合わせください。  
(院長 笠松 哲司)



訪問診療・往診専門  
医療法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ通信

No.42

令和6年5月



新年度になりました。クリニックにも、連携先の病院の新しい診療体制の紹介が続々と届きます。研修医の先生方の中には、私が小児科医としてお子さんの頃に診察させていただいた方もいらっしゃいました。勿論ご本人は知る由もないとは思いますが、ご立派になられたなぁと勝手に感慨にふけております。

先月、この仕事を始めてからおよそ11年間、毎月訪問を続けてきたお子さんの診療を終了させていただきました。ちょうど私の娘と同じ年のお子さんで、18歳になられて高校ご卒業のタイミングでした。お母様とは修学旅行のことや進学のことなど、いろいろなお話をさせていただきました。

小児科の患者さんたちは、特に小さな頃から慢性疾患の治療継続が必要な場合、成人期医療への移行が困難であることが大きな課題です。0歳から18歳まで、人生100年時代において18年間は短いかもしれませんが、こどもは非常にダイナミックに成長、発達します。そして、私が小児科医になった25年前よりも、医療技術や医療機器は格段に進歩して、小児の患者さんの在宅生活も様変わりしています。私が研修医のときは見たこともなかったような医療的ケアを、今は普通にご家族がご家庭でケアしていて、そして医療的ケアを行いながら学校へも行ける世の中になってきました。小児在宅医として、勤務医時代よりも患者さんたちにより近い立場で長期間の診療をさせていただき、とてもありがたいと思います。それとともに、10年前の10倍以上に増えた小児の担当患者さん方を、いかに成人期医療へ繋げていくのがよいのか、真剣に考えなければいけなくなってきたと実感しています。

そんな私も、母親業19年目に入りました。娘の県外進学もあって、2月からはあちこちへ何度も長距離運転をして、引っ越しも子供たち3人と一緒にマイカーで荷物を運びました！まだまだ頑張らねばいけません、更年期の諸々も出てきて、先輩産婦人科医の先生にご相談しながら、自分の体調にも向き合う時間を作るようにしています。

(小児科 笠松 由華)



今月の庭の花 (シャリンバイ)



円安に伴うインバウンド増加で、大阪も京都も日本語が聞こえてこないぐらいでした…。

(2024年3月)



〒770-8054 徳島市山城西4丁目13-3  
HP: <http://www.kasamatsu-zaitaku.com>

TEL: 088-679-6393  
FAX: 088-679-6394





訪問診療・往診専門

医療  
法人

かさまつ在宅クリニック

かさまつ通信

No.42

令和6年5月



先日、医薬品卸主催の展示会に行ってきました。主に食品エリアを見学したのですが、ドラッグストアなどでもよく見かける補水液や高カロリーの補助食品をはじめとし、嚥下機能の落ちた方へ多用されるとろみ製剤、成分調整剤、そして備えとしての長期保存食が多くの企業から出展されていました。

加齢や疾患のため摂取できていないカロリーや栄養素を、少しでも匂いや味を楽しんでもらいながらどう補うか、商品開発されていました。また試食をさせてもらったおもちゼリーでは、ねばりを減らしながらも本来の風味も残しており、とても工夫されていたと思います。“百聞は一見にしかず”でなく“一食にしかず”で、たくさんのサンプルを頂いて帰りました（笑）（薬剤師・宮田）



今年はお正月から大きな地震がありました。先日は豊後水道震源の地震もありました。改めて、ご近所の自主防災組織の活動について書かせていただきます。

昨年末にリヤカーと担架を使って、実際に避難所まで移動しました。ノーパンクタイヤのリヤカーはタイヤが硬いためか、振動が大きくて乗り心地はとても悪かったです。布団を敷こうか？座布団の方が持ち運びが楽では？などの意見が出ました。荷物を載せる場所や人が座る位置によって、リヤカーを引く人の負担にずいぶん差があるなどの発見がありました。また、要介助者の把握調査を行っていましたが、数か月前に杖で歩いていた人が車いすになっていたなど、定期的な調査の必要性やご近所のつながりの大切さを感じました。次回は夜間の避難訓練を予定しています。（看護師・高橋）



五月は春から初夏への移り変わりですね。新緑が美しく清々しい季節です♪この時期は、彩り豊かな花や優雅に泳ぐ鯉のぼりが目を楽しませてくれます。子供の頃、家の庭に鯉のぼりを揚げていたことを懐かしく思い出します。

鯉のぼりには、どんな環境にも乗り越えて力強く生き抜くことができますようにという願いも込められているそうです。新生活をスタートし、環境が変わった方も多いと思います。上を見上げる、上を向いて頑張ろうと思わせてくれる鯉のぼり。日本の風物詩でもあり、子供のためだけでなく大人のためにもいつまでも残していきたいですね。（事務・出葉）



〒770-8054 徳島市山城西4丁目 13-3  
HP : <http://www.kasamatsu-zaitaku.com>

TEL : 088-679-6393  
FAX : 088-679-6394

